



アビリンピック埼玉大会出場者決定!

アビリンピックは、日頃培った技能を互いに競い合うことで、その職業能力の向上を図るとともに、企業や一般の人々に障害者に対する理解と認識を深めてもらい、雇用の促進を図ることを目的としています。正式名称は「障害者技能競技大会」、愛称が「アビリンピック」です。「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせたものです。

部門	学年・学級	氏名
パソコンデータ入力	3年5組	大越 光矩
	3年8組	茂木 祐輔
喫茶サービス	3年3組	石倉 安七
	2年4組	平方 麗奈
ビルクリーニング	2年8組	原田 亮太
	3年8組	宮崎 睦
オフィスアシスタント	3年4組	藤崎 優輝
	1年2組	伊藤 貴洋

今年度、本校では4部門に28名の生徒が自分の能力と可能性を信じ、校内選考会に挑みました。部門ごとの選考の結果、左の8名が県大会に出場することになりました。昨年は、県大会で金賞、銀賞を受賞した2名が全国大会に出場し、また、過去、世界大会に出場した卒業生もいます。

8名の皆さんも全国大会を目指し、さいたま桜の代表として、精一杯頑張ってきてください。応援しています!

【埼玉県大会】7月15日(土) 9:20~15:20 国立職業リハビリテーションセンター(所沢市)

就労

しえんしつ日記

明日から実習という前日の夕方、「実習に行きたくない…!?◎」と、ある2年生が心中を打ち明けた。これまでやったことのない職種への不安や自分への評価の不安、『働くこと』への漠然とした疑問などに悩んでいたという。

担任とじっくり話をすることで気持ちを切り替え、次の日何とか出勤できた。そんな気持ちを抱えたままの2週間はなんと長かったことであろう。その頑張りから得たものが必ずあるはずだ。

それだけでなく、実習後「今回の実習では1日の中でいろいろな作業を行ったが、自分は前の実習で行った1日同じ作業を行う方が合っている。」とふり返った。どんな働き方が自分に向いているのかわかったことは、大きな収穫だ。

